



教育経済常任委員会 委員長 門 眞一郎

飯南町「人・農地プラン」検討会設置条例の制定

個別所得補償経営安定推進事業実施要綱に沿って検討会を設置するものであるが、構成員に農業委員が含まれている。農業委員会の独自性を尊重するために次の意見を付した。

意見書

- 国の施策に乗ることは重要であるが、地域の特色を生かす取り組みにする必要がある。
- 集落から提出された「人・農地プラン」は、まず農業委員会が審査し、これを持って代表委員が検討会に出席し、プランを練るよう求める。

研修報告 おおき環境センター (くるるん)を視察

平成24年10月26日(金) 福岡県大木町

大木町は平成19年3月に大木町もったいない宣言(ゼロ・ウェイスト宣言)を行い、ごみゼロへの挑戦を開始した。

下水道設備のない大木町は、多くが合併処理槽を持っている。ここから発生する汚泥と生ごみ・し尿をタンク内でメタン発酵させ、毎時50キロワットの発電を行っている。

発酵が終わって出来た液肥は、施設周辺に集積された畑や水田で利用し、有機栽培を行っている。有機野菜は隣接する道の駅で直売や料理として提供され、米は100ha分を道の駅が買い取りブランド米として販売している。

液肥は無料で誰でも利用できるが、水田などに散布してもらうと10a当たり1000円の散布量がかかるそうだ。

大木町環境課が管理する施設であるが、廃棄物の処理だけに着目せず、新たな産業の創設にまで発展させる柔軟な発想に、飯南町に欠けているものが見えたような気がした。



メタンガス処理施設

平成24年度 一般会計補正予算(第5号)

農林水産業費

地域貢献型集落営農ステップアップ事業 272万円
宇山振興会のサツマイモ販路拡大事業に213万円の補助と、長谷集落営農の地図情報システム導入に59万円の補助を行う。

教育費

小学校臨時管理費 612万円

来島小学校、赤名小学校へ特別支援学級を開設するための教室及び保健室の改修費。

全国的に特別支援学級の対象者は増加傾向にあり、環境の良い田舎での就学を希望し、家族で移住する例もあるが、受け入れる考えも必要ではないかとの意見があった。

スクールバス整備費 100万円の減額

スクールバスの入札減によるものだが、極力町内の事業者から導入するよう求め、今後、スクールバス更新が見込まれるため、考慮するとの回答を得た。

議会活動報告(10月~12月)

10月

- 1日 議会広報編集委員会：紙面校正
- 2日 決算審査特別委員会：企画財政課、教育委員会
- 5日 議会広報編集委員会：紙面校正
- 9日 決算審査特別委員会：総務課、保健福祉課
- 10日 島根県町村議会議長会、全議員研修会(松江市)
- 11日 総務厚生常任委員会：路線バスについて
- 12日 雲南市・飯南町事務組合議会
- 18日 決算審査特別委員会：飯南病院、建設課、議会全員協議会
- 24日 決算審査特別委員会：住民課、産業振興課
- 26~28日 第10回全国和牛能力共進会 長崎大会
総務厚生常任委員会視察研修(長崎県大村市)
教育経済常任委員会視察研修(福岡県大木町)
- 29~30日 議会広報全国研修会(東京都)

11月

- 6日 決算審査特別委員会：(株)フロンティアあかぎ、飯石森林組合、ファーム木精
- 8日 決算審査特別委員会：飯南町商工会
- 14日 決算審査特別委員会：飯南町社会福祉協議会、JA雲南、(株)飯南町トータルサポート
- 15日 教育経済常任委員会
- 19日 決算審査特別委員会：現地
- 20日 議会運営委員会：諮問事項検討
- 21日 教育経済常任委員会：閉会中の調査事件
- 22日 島根県中央子牛共進会
- 25日 議会全員協議会
- 28日 決算審査特別委員会：まとめ
- 30日 島根県町村議会議長会、正副議長・正副委員長研修会(松江市)

12月

- 5日 議会運営委員会：12月定例会の提出議案、日程外の協議
- 11日 12月定例議会：本会議、町長行政報告、提出議案の説明、質疑
- 14日 : 本会議、一般質問
- 17日 : 委員会審査
- 18日 : 委員会審査
- 19日 : 委員会審査
- 20日 : 委員会審査、全員協議会
- 21日 12月定例議会：本会議、討論、採決・全員協議会
- 25日 雲南市・飯南町事務組合議会、雲南広域連合議会
- 27日 議会広報編集委員会：一般質問要約

総務厚生常任委員会 委員長 長島 正一

飯南町生活路線バスの区域外設置

高速バスの路線変更に対応するため、雲南市吉田町に新設される「道の駅たたらばき番地」まで飯南町生活路線バスを運行するためのもの。利用者の利便性を図るため、次の意見を付した。

意見書

- 停留所の設置については、今後、住民の利便性や要望も踏まえ検討されたい。また、行政職員自らバスの利用促進を図るよう努められたい。

平成24年度 一般会計補正予算(第5号)

歳入

サブロ島根貸付金元利収入 2024万円

特にサブロ島根貸付金については、ここまで予算計上が遅れたことへの疑問を、財政規律重視の観点から指摘した。

歳出

障害者福祉費臨時管理費 166万円

この事業は、空き家改修によって、障がい者のケアホーム・グループホームを開設するためのもの。ノーマライゼーションの浸透に伴い、今後のモデルとなる事業である。地域住民の理解が得られスムーズな事業展開ができるよう行政の支援を求めた。

長期債償還元金 1008万円

島根県商工振興資金返済金のサブロ島根貸付分を計上したもので、貸付金回収に万全を期するよう意見した。

研修報告 障がい者授産施設 (キッチンあい彩館)を視察

平成24年10月26日(金) 長崎県大村市

長崎県大村市にある、就労移行支援・就労継続支援B型施設を訪問し、本町の行政支援のあり方について方向性を探った。

障がい者施設運営組織について

本町のように、株式会社へ指定管理委託をすることは廃業撤退というリスクがあり好ましくなく、その点、基本資産及び運用財産に高いハードルを課している社会福祉法人の設立が望ましいという指摘があった。

しかし、本町ではこれを達成することは容易でなく、行政支援に知恵を絞るべきだ。

障がい者支援員確保への支援

就労支援は、規定の支援員数では足りない事業所が多いので、ボランティアの活用は望ましいが、その確保も困難だ。解決策として行政支援の仕組みが必要だ。



調理施設